

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	エフビー介護サービス株式会社	代表者	柳澤 美穂	法人・事業所の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・法人共通介護方針として、①個別ケア、②認知症ケア、③看取りケア、④地域ケアの4つのケアを大切に、地域に密着した介護改革と社会貢献を目指す。 ・自立支援への取り組みとして、隣接する農園で利用者様と一緒に野菜や果実を収穫し、下ごしらえから調理まで利用者様と一緒にするなど、生活の中で培ってきた能力を発揮する場を設け生活リハビリを行っている。 ・高速道路無料区間出入り口近くのため、離れたエリアからも短時間で移動可能。 ・自然豊かで野鳥などが生息し、住宅地から少し離れた静かな立地。
事業所名	小規模多機能あったかほーむいしずえ	管理者	櫻井 誠		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	1人	人	1人	1人	1人	2人	人	7人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・当日リーダーが責任を持ってミーティングを継続する。 ・支援の内容変更後の対策実行経過確認作業をスタッフ研修時・スタッフ会議時に行うとともに計画作成者・リーダーが中心となり利用者様に変化があった場合にはカンファレンスを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・当日リーダーが朝のミーティングを行うことができた。 ・前期に関してはカンファレンスが十分に行うことができなかったが後期には、カンファレンスができるようになった。 		<ul style="list-style-type: none"> ・支援の内容変更後の対策実行経過確認作業をスタッフ研修時・スタッフ会議時に行うとともに計画作成者・リーダーが中心となり利用者様に変化があった場合にはカンファレンスを行う。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> ・既存の備品や設備を温存し経費をかけず、狭い空間を最大限有効活用しサービス提供を図れるよう努力する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要なものは購入を行い、利用者様に対して利便性を図ることができた。 		<ul style="list-style-type: none"> ・既存の備品や設備を温存し経費をかけず、狭い空間を最大限有効活用しサービス提供を図れるよう努力する。
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナの状況を見ながら、地区の行事に積極的に参加していく。 ・挨拶や何気ない会話など継続していき、地域との関係性を大事にしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍でほとんどの行事が中止となり参加する機会が得られなかった。 ・挨拶などはきちんと行えた。 		<ul style="list-style-type: none"> ・感染対策を講じながら、地区行事等に参加していく。 ・挨拶や何気ない会話など継続していき、地域との関係性を大事にしていく。
D. 地域に向いて本人の暮らしを支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・行政や当該包括支援センター及び他包括支援センターとの連携を図り、地域資源を活用しながら適切にサービス提供が行えるよう働きかけていく。 ・コロナの状況を見ながら利用者様地域の行事に参加していただく 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源の開拓や活用が不十分であった。 ・コロナ禍で利用者様の地域の行事には参加できなかった。 		<ul style="list-style-type: none"> ・行政や包括支援センター及び他包括支援センターとの連携を図り、地域資源を活用しながら適切にサービス提供が行えるよう働きかけていく。 ・感染対策を講じながら、利用者様地域の行事に参加していただく

	く様に務める。			く様に務める。
E. 運営推進会議を活かした取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議での事業所の報告や、当該包括支援センター区以外にお住いの利用者様状況の報告、事業所の課題や問題を提示し、推進委員の方々から、意見や助言をいただきながら事業所の課題や問題解決に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議の開催がコロナ禍で書面での開催が多く、事業所の状況の報告が主となり、事業所の課題や問題点を推進委員の方から伺うことが不十分であった。 		<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議での事業所の報告や、当該包括支援センター及び区以外にお住いの利用者様状況の報告、事業所の課題や問題を提示し、推進委員の方々から、意見や助言をいただきながら事業所の課題や問題解決に努める。
F. 事業所の防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナの状況を見ながら年2回の防災訓練を行っていく。 ・自然災害発生時の対応策を講じていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・5月、10月、11月に訓練を行うことができた。 ・防災訓練の想定で、自然災害が発生した訓練を行うことができた。 		<ul style="list-style-type: none"> ・感染対策を講じながら年2回の防災訓練を行っていく。 ・自然災害発生時の対応策を講じていく。